

水性反応硬化形多機能つや消しアクリル樹脂系塗料

# ALESSUISEI アレス水性 ワイドグリップ WIDEGRIP

低VOC

鉛・クロム  
フリー

防カビ

ヤニ止め

抗菌

# アレス水性ワイドグリップ

近年の建築塗装では内装や軒裏等において、ターペン型アクリル樹脂系塗料が使われています。しかし、シックハウス症候群に代表される室内環境問題から、これまで以上により環境に配慮した塗料の選択は社会的な必須要件になっています。

『アレス水性ワイドグリップ』は、当社が構築した水性反応硬化技術の集大成として開発した「多機能つや消しアクリル樹脂系塗料」です。内外部の仕上げとして、幅広い用途にご使用いただけます。

## アレス水性ワイドグリップの特長

### 優れた付着力

Wide grip

水性反応硬化樹脂の優れた付着力により、力強く下地・旧塗膜を掴みます。

### 高い環境性能

Wide ecology

水性・低臭・低VOC  
F☆☆☆☆です。

### 様々な特長

Wide features

抗菌性・防カビ性・  
防藻性を有します。

### 卓越した隠蔽力

Wide cover

トマリが良く、  
高い隠蔽性を誇ります。

### 幅広い適用範囲

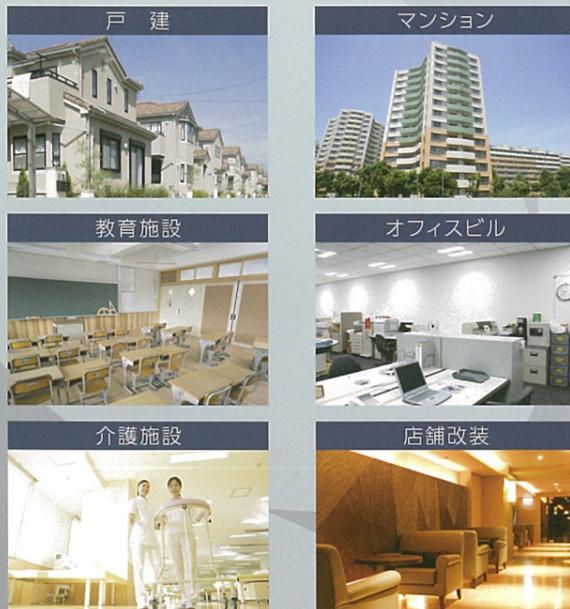
Wide utility

環境への配慮が必要な居室内の新設・塗り替えはもちろん透湿性が必要な外部軒天面塗り替え適正に特に優れています。

### 適用素材

コンクリート、モルタル、各種ボード、各種旧塗膜、ビニールクロス面

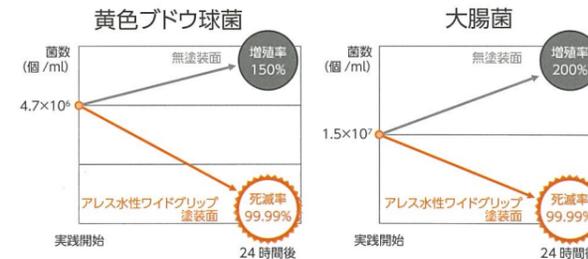
### 主な用途



## アレス水性ワイドグリップの主な機能

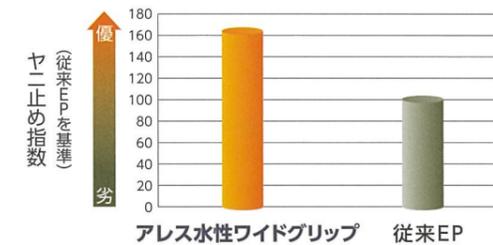
### ● 抗菌性

菌滴下法試験結果



試験方法  
・菌液 0.5ml を試験面に滴下  
・24 時間経過後の菌液中の菌数を測定  
・菌液の採取は洗い流し法による

### ● ヤニ止め性



右の見本程度迄のヤニ面に対して効果が期待できます。(25-90D近似) さらに厳しいヤニ面には「ストップシーラー」を併用してください。

施工上の留意点 ヤニが著しく付着している場合やしみ、あく等は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどでヤニを水拭きし十分に乾燥してから塗装してください。

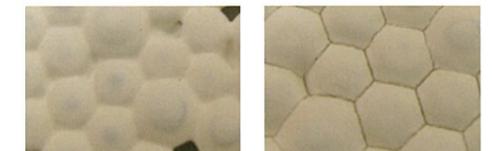
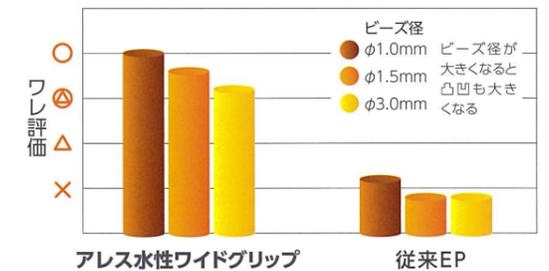
### ● 防カビ性

カビ抵抗性試験 (JIS Z 2911)



※EP : エマルジョンペイント

### ● 耐ワレ性



### 塗膜性能

項目	アレス水性ワイドグリップ	品質
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性	合格	2回塗り、塗装作業に支障があってはならない。
低温安定性 (-5℃)	合格	変質してはならない。
乾燥時間	標準状態	2時間以内
	5℃	4時間以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠蔽率 (白および淡彩)	合格 (98%)	93%以上 ※1種
耐水性	合格	96時間浸したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性	合格	48時間浸したとき異常がないものとする。
耐洗浄性	合格	500回の洗浄に耐えるものとする。
促進耐候性	合格	白亜化の等級は1以下で、影れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。
屋外暴露耐候性	合格	12ヶ月の試験で、影れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。

### 各種素地適性一覧

素地の種類	適性
コンクリート	○*
モルタル	○*
PC板	○*
押し出し成型板	○*
ケイカル板	○*
ブロック	○*
スレート板	○*
木毛セメント板	○*注4
木部	○*
鉄部	○*
塩ビクロス面	○

### 各種旧塗膜適性一覧

旧塗膜の種類	適性
つや消し水性塗料 (EP)	○
合成樹脂調合ペイント (SOP)	○*
塩化ビニル塗料 (VP)	○
アクリル系塗料 (AE)	○
つや有り水性塗料 (GP)	○注1
多彩模様塗料	○*
アクリルリシン面	○注2
吹き付けタイル面	○
アクリルスタッコ面	○注3
弾性塗料面 (複層弾性・単層弾性)	×

注1: 旧塗膜の種類によってはフレが発生する恐れがありますので、事前に確認の上塗装してください。  
注2: 弾性リシン面には塗装しないで下さい。  
注3: 弾性スタッコ面には塗装しないで下さい。  
注4: 吸込みが大きいため、使用量がカタログ値より多くなります。  
※それぞれの素地に対する主な適用下塗りには以下の通りです。  
【コンクリート、モルタル、スレート、ブロック】: 「エコカチオンシーラー」 「EPシーラー」 など  
【PC板、押し出し成型板】: 「浸透形シーラー」  
【ケイカル板】: 「エポキシシーラー」 「水性ケイカルシーラー (内部の場合)」  
【木毛セメント板】: 「ストップシーラー」  
【木部】: 「アクアグランドコート」 「ホルス下塗り (F4)」  
【鉄部、旧塗膜SOP】: 「アクアマックスII」 「アクアマックスEX」 「ザウルスEXII」  
【多彩模様塗料】: 「ストップシーラー」  
この他にも適用可能な製品がございますので、詳細は弊社までお問い合わせください。

白及び淡彩色・中彩色(つや消しのみ) 16kg

## 適用素材

コンクリート、モルタル、PC板、押出成形板、ケイカル板、ブロック、スレート、木毛板、木部、鉄部、塩ビクロス面等  
(素材によっては、シーラーやさび止め塗料(プライマー)が必要になります。各種素地適性一覧をご参照ください。)

## 標準塗装仕様

### ■平滑面

工程	塗料名	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	希釈	希釈率(%)	塗装間隔(23℃)
素地調整	新設面	●エフロッセンス、レイタンスなどの粉化物、よごれ、油分などを、除去してください。 ●吸い込みの著しい下地には、吸い込み止め、付着保護のためシーラーをご使用ください。 ●劣化塗膜はケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去してください。ごみ・汚れ・埃などを除去し清浄な面としてください。 ●クロスめくれ、浮き、破れなどを補修し、油よごれなどは中性洗剤で拭き取り後水拭きし、乾燥した清浄な面としてください。	ローラー、はけ	上水	0~10	2時間以上7日以内
	塗替面 塩化ビニールクロス面					
上塗り(1回目)	アレス水性ワイドグリップ	0.12~0.14	ローラー、はけ	上水	0~10	—
上塗り(2回目)	アレス水性ワイドグリップ	0.12~0.14	ローラー、はけ	上水	0~10	—

### ■リシン面(軒天など)

工程	塗料名	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	希釈	希釈率(%)	塗装間隔(23℃)
素地調整	塗替面	●浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。 ●粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。	ローラー、はけ	上水	0~10	2時間以上7日以内
	アレス水性ワイドグリップ					
上塗り(1回目)	アレス水性ワイドグリップ	0.15~0.25	ローラー、はけ	上水	0~10	—
上塗り(2回目)	アレス水性ワイドグリップ	0.15~0.25	ローラー、はけ	上水	0~10	—

注)上記の数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ幅を生じることがあります。  
(特に旧塗膜がリシン面などの粗面の場合は大幅に増える場合がありますので、試験施工などで確認してください)  
※塗料を厚く付けすぎると、割れが発生する場合があります。  
※繊維質、耐火被覆材など表面が非常に脆弱な素材には塗装できません。  
※旧塗膜がつや有り塗膜の場合、種類によっては適性がない場合がありますので試験施工などで確認してください。

## 施工上の注意事項

- ①気温5℃以下、湿度が、85%以上または換気が十分でなく、結露が想定される場合は塗装を避けてください。
- ②外部および準外部の塗装で降雨や降雪のおそれがある場合は塗装を避けてください。
- ③ゴムパッキン、プラスチックなど可塑剤を含むものには塗装したり、塗膜が直接ふれないように注意してください。
- ④シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、剥離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないでください。
- ⑤塗装後、24時間以内に降雨結露の影響を受けると白化、しみが残ることがあります。
- ⑥笠木、天端など長時間水が滞留する場所では塗膜の白化、膨れなどが発生することがあります。
- ⑦常に結露が発生する用途、場所への使用は避けてください。著しい結露が予想される場合は、セラミドなどのターペン系塗料を推奨します。
- ⑧蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、業業サイディングなど)や断熱構造が強い場合で旧塗膜が弾性シリコンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップなどの塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れが更に拡大することがありますので、旧塗膜を除去するなどの入念な下地処理を行ってください。
- ⑨各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
- ⑩素地の乾燥は十分に行ってください。(含水率8%以下、pH10以下)
- ⑪開缶後よくかきまぜて均一にしてから使用してください。薄め過ぎは隠ぺい力不足、仕上り不良などが起こりますので注意してください。
- ⑫補修塗りが必要な場合がありますので、補修用塗料をあらかじめ確保してください。
- ⑬はけ塗りとローラー塗りが混在する場合、肌が異なるため若干の色差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ⑭塗装用具はできるだけ早く洗浄してください。固まった場合はラッカーシンナーで洗浄してください。
- ⑮旧塗膜に発生している藻・かびは、洗浄などで必ず施工前に除去し清浄な面としてください。付着阻害を起こすおそれがあります。
- ⑯油汚れの著しい場合は割れ・はがれを起こす場合がありますので中性洗剤でしっかり油分を落としてから施工してください。
- ⑰素地の状態が粗面であったり、塩化ビニールクロス模様による凹凸が大きい場合、塗付量が多くなります。
- ⑱紙クロスや汚染防止クロス(シリコン加工され水をかけると著しくはじくクロス)には塗装できません。
- ⑲旧塗膜が弾性塗料の塗り替えには使用しないでください。
- ⑳吸込みのある素材(コンクリート、モルタル、ケイカル板など)に塗装する際は、適切なシーラーを使用してください。

## ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。  
詳細な内容については化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。

### ■予 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。  
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。

本来の目的以外に使用しないこと。  
指定材料以外のものとは混合(多液品混合・希釈等)しないこと。  
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。  
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。  
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。  
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

### ■対 応

目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。  
皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、

医師の診察を受けること。  
吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。  
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。  
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。  
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

### ■保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。  
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。  
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

### ■廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

### ■施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp

本 社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934  
北海道販売部 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757  
東北販売部 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073  
北関東販売部 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223  
東京販売部 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935  
中部販売部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981  
大阪販売部 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603  
中国販売部 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285  
四国販売部 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950  
九州販売部 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339



ご用命は